

令和6年度自己評価結果公表シート

作成 川口聖マリア幼稚園

1、 本園の教育目標

情操豊かにたくましく
他人を思いやる心を育成することを目標とする

2、 評価項目の達成及び取組状況

子どもの体力や体の使い方が低下しているため、芝生の園庭を活かし体のいろいろな部分を使えるよう、遊びを提案したりしてきた。すぐに身につくわけではないので、継続して取り組んでいくことが必要だと感じている。

発達の遅れや個々の違いがあっても、それぞれの子らが園で充実した生活が送れるよう保護者とも協力しながら環境を整えるよう心掛けている。

3、本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目	取組状況
遊びを通して幼児期に必要な運動感覚を養い、体力づくりをするとともにルールなどの存在に気付き、人と関わる力を育てるびの中で基礎体力をつけ、運動する楽しさを味わえるようにする	遊具を使って体を動かす機会を作り、リズムやバランス感覚を養うよう心掛けている。 ルールのある遊びを提案することでトラブルも起こってくるが、他者との関りが必要となり話し合いの場などを設けることができた。
個々の状況・実態を把握し園生活を送るための援助の在り方について、職員間で共通理解を図る	子どもや保護者の様子など情報は共有している。クラスに関係なく気になることなどは報告し、援助の仕方にばらつきがないように心がけている。
自然災害・事故・防犯等への理解を深め、日ごろから子ども達へも注意喚起するとともに、緊急時の対策確認や安全点検を行う	避難訓練を行い、避難の方法や大切なことを伝えている。 防災の研修を受けることで、教師自身がいざという時に冷静に行動できるよう備えている。

4、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子ども達の体の使い方のぎこちなさがとても気になり、体力作りにも力を入れてきたが、すぐに成果が出るわけでもなく、引き続き取り組む必要があると感じている。コロナのように感染症への対策は神経質になる必要はなくなってきたが、熱中症など暑さへの対策は必要で、体力作りもその一つに挙げられるだろう。

子どもの個性や多様性を認めながらも実際にはうまくいかないところもあったが、それぞれの子どもたちに必要な援助を考え保育に取り入れていくことを心掛けることができた。今後も継続して取り組んでいきたい。

5、 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
指導計画の編成	特別支援教育、配慮の必要な子といった様々な子どもの実態に即した個別の指導計画にも取り組んでいく。
子どもの体力づくり	遊びの中で体を動かす活動を取り入れ、楽しみながら充実感を味わえるように工夫し、集中力も付けられるようにしていく。
家庭との連携	気になる子どもが増える中で、保護者との信頼関係を築き、不安や心配事への解消へとつなげる。必要があればカウンセリングや関係機関を紹介し、園も連携を取りながら支えとなるようにする。

6、 学校関係者の評価

・概ね日々の努力は認められ特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7、 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。